平成 24 年 12 月 20 日

安曇野市長　宮　澤　宗　弘　　様

明科地域審議会
会　長　　宮　川　智　江　古

第１次安曇野市総合計画基本構想の一部変更について（答申）

平成 24 年 11 月２日付け 24 企画Ｂア－１第 66 号で諮問のありました、第１次安曇野市総合計画基本構想の一部変更について、当地域審議会で慎重に審議をした結果、別添のとおり答申します。

答　申　書

～第１次安曇野市総合計画基本構想の
一部変更について～

平成 24 年 12 月 20 日

明科地域審議会

１　はじめに

安曇野市の目指すべき将来像と、その実現に必要な諸施策の方向性を定めた第１次安曇野市総合計画は、策定後５年近くを経過する中で、少子高齢化や人口減少社会の到来や東日本大震災、また世界経済の低迷による地域経済の大きな変革などから本市を取り巻く社会経済情勢も大きく変化してきていることから、これらの社会情勢の変化に帰属した見直しが必要となりました。

このことから、市から「第１次安曇野市総合計画基本構想の一部変更について」諮問があり、当地域審議会において審議を重ねた中で次のとおり答申いたします。

２　答申事項

第１次安曇野市総合計画基本構想の一部変更案に対しては、了承します。

なお、各委員から次のとおり意見がありました。

（１）第２章　将来都市像の説明文中「～、農業、工業、商業など各産業がバランスよく発展しています」と、第３章　施策の大綱「第１節分野別基本方針　５豊かな産業のあるまちの形成」に新たに追加された「（３）安曇野モデル構築への取り組み」中の「～農業、工業、商業、サービス業、観光業などの～」と文面の整合を図るべきと考える。併せて「情報通信業」の追加も検討すべきと考える。

（２）第３章　施策の大綱「第１節分野別基本方針　１環境に優しいまちの形成　（３）環境に優しいエネルギーをつくるまち」中の「～太陽光、太陽熱、小水力などによる～」に、間伐材の再利用や森林関係者との連携、実験プラントのノウハウを生かすためにも、「バイオマス」を追加すべきと考える。

（３）基本構想の一部変更の事由として、主に社会経済における変化を要因としているが、松くい虫被害や鳥獣被害などの自然環境の変化も事由の要因の一つと考えられるので、言及してほしい。また都市将来像をはじめ、「産業」という表現の定義を明確にしてほしい。

（４）明科地域の農業については他地域と比べ小規模であり、農作物や取り組み内容なども異なるので、小規模農業に対する産業振興策も検討してほしい。

３　おわりに

第１次安曇野市総合計画基本構想の一部変更及び後期基本計画により、豊かな自然環境の下、本市が抱える課題の解決を図るとともに、社会情勢の変化を踏まえた、自主性・自立性によるまちづくりの実現に向けた施策の展開を期待します。

平成 24 年度　明科地域審議会　開催状況

回数	開催日	審　議　項　目	備考
第１回	11 月 19 日	○諮問「第１次安曇野市総合計画基本構想の一部変更について」	
第２回	12 月３日	○諮問「第１次安曇野市総合計画基本構想の一部変更について」の答申（案）について	

平成 24 年度　明科地域審議会　委員名簿

（敬称略）

区分		氏　名	備　考
自治会の代表		内　川　勝　治	
		遠　藤　宏　一	
公共的団体に属する者		山　口　　登	
		青　木　武　良	
		望　月　恭　子	
		岡　山　き　み　子	
		丸　山　良　子	
学識経験を有する者		伊　藤　文　男	
	会長	宮　川　智　江　古	
		平　林　義　明	
公募による者		仲　田　好　明	
		小　林　敏　郎	
		小　林　　憲	
	副会長	矢　花　正　一	
		柴　　義　雄	